平成 25 年 1 月 25 日

内閣官房

知的財産政策ビジョン検討ワーキンググループ御中

渡辺 捷昭

本日は、大変恐縮ながら、所用により参加できませんので、下記のとおり第 1 回会合における議題に関する意見を提出いたします。

① 科学技術に関する国家戦略について

知財戦略の前に、科学技術戦略が国家戦略として策定されているか。技術開発、ハード開発、ソフト開発が十分にできているかという観点が必要である。10 年後を見据えた、しっかりとした科学技術国家戦略を構築すること、そしてその国家戦略を的確かつ迅速に実行するための体制を整備する中で、規制改革、人材育成改革などと併せ、知財戦略（含国際標準化戦略）を構築する必要がある。その意味で道具としての知財と、科学技術／IT 技術の連携が、ビジョン構築では重要である。

② 産官学の連携とリーダーシップについて

国家戦略を構築し実行していく上で、産官学の連携が非常に重要である。特に、司令塔としての内閣官房＝官が強くなる必要があり、知財戦略を含め、産・学を強力に引っ張っていくリーダーシップを望む。

③ 中小企業について

特に日本においては、開発、生産、販売／サービスという流れの中で中小企業は非常に重要である。中小企業に支えられて産業が成り立っているといっても過言ではない。中小企業の中には、きらりと光る技術を持つ「小さな大企業」が多く存在する。彼らの優れた技術／特許を上手に引き出す仕組みもビジョンでは考えていく必要がある。

以上